

第3回（仮称）かつしかアート・カルチャー基本方針策定委員会 議事録

日 時	令和6年10月25日（金） 午後3時00分から午後5時00分まで
会 場	かつしかシンフォニーヒルズ別館2階「メヌエット」
出席者	垣内 委員長 片山 副委員長 神保 委員 傍嶋 委員 齋藤 委員 堀口 委員 吉本 委員 中島 委員
事務局	地域振興部文化国際課
配布資料	（仮称）かつしかアート・カルチャー基本方針（素案） 〃 基本となる方向性（目指すべき未来像）案 〃 策定スケジュール（予定）について
議事内容	1 基本方針の素案について 2 基本となる方向性（目指すべき未来像）案について 3 今後のスケジュール（予定）について 4 その他

議事録

開会

委員長 おはようございます。
本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございました。早速ですが、第3回（仮称）かつしかアート・カルチャー基本方針策定委員会を開催いたします。

議題 1～4

【議題1 基本方針の素案について】

委員長 非常に時間的制約が大きい中、いろいろな修正をいただいている、資料も最終版に近いものと聞いております。今回は、素案の枠組み、効率的な運用の在り方、含まれている事柄等についてできるだけ確定するという、それから議題2の方で議論することになるかと思っておりますけれども、要するにサブタイトルですね。この方針のサブタイトルについても少し時間を取って議論をしたいという趣旨であるとお伺いしております。なので、ボリュームとしては素案の議論の方が大きいかなというふうに認識しておりますので、できるだけ先生方のご意見を頂戴してですね、最終的に固めていくための情報を共有したいと考えております。もちろんその目指すべき未来像、つまりサブタイトルについてもですね、後でご紹介をいただくようなのですが、資料はもうすでにお送りしているかと思っておりますので、こちらも併せて議論していただいても構いません。

目次および構成、これ自体については前回概ねコンセンサスをいただいておりますが、そこに含まれている内容、それから説明の内容や順序ですね、過不足なども含め、様々なお気づきの点があるかと思っておりますので、ご質問と併せて意見を頂戴していきたいというふうに思います。

一巡でもよろしいですかね。ご出席委員全員にコメントを頂戴しようと考えております。ではまず初めによろしく願いいたします。

委員 個人的にはどんどん形になってきていると感じております。いろいろな意見をこういった形でとりまとめて、葛飾の計画として整理していくかというところを短い時間で大変だったと思います。その中で庁内意見も含め気になった点がございますので2つ質問をしたいと思っております。第1章の「基本方針策定の趣旨」の部分に国の計画・方針等を加える場合、どのようなものを追加する等の展望があったら伺いたいところです。私が気になったところとしては、文章を見ていく中で辻褄がどう合っているかという

	<p>のは非常に気になるところで、第2章の区民意識調査の分析で、「とどまっています」の記載に対して、第3章以降に改善に向けた方向性が触れられていないというのが、正にそのとおりのところだと思います。</p> <p>その中で、何を指すかが多分見えにくいのかなと思います。</p> <p>例えば「とどまっています」ということが、かつしかシンフォニーヒルズやかめありリリオホールの発信についてやりたいのか、それとも、そういうのは関係なく、文化活動・文化・芸術の振興をしたいのかということで、やることは変わってくるんじゃないかと思っていて、これは「とどまっています」という用語の問題もあるんじゃないかなと。要するに、結果ということだけでいいのかどうかという話。2割にとどまっていますと言ったらそれは問題だけど、2割ですといったら事実を伝えるだけということになると思います。それがこの文章を変えるのか何か次の政策を考えるのかということはどうしたいのかなということが少し見えなかった部分です。その他で、さらに気になったのはアンケート結果を見ると、区外の施設が最も多くということでは解決につながらないのではないかと思ったので、ここは改めてどういう意図でこの用語にしたのかお伺いしたいです。</p> <p>区民意識調査の分析というところに係るんですけども、区民意識調査の5ページの分析の活用の頻度という部分も、この用語なんですけども、「とどまっている」という言葉が使用されております。とどまっているという用語だと、それが問題であるような意味合いになってしまう可能性がありますので、こちらも「年に数回程度です」くらいの言い方にしたほうがいいと思います。</p> <p>2番については言い方を変えたほうがいいと思います。1番については、どういう風にしたらいいか、かつしかシンフォニーヒルズ、かめありリリオホールの発信までやりたいのであれば、14ページの取組の柱3「情報発信の強化」の部分にかつしかシンフォニーヒルズとかめありリリオホールの発信をしていきますという文言を盛り込んでいかなければならないと思います。</p> <p>ただそれに対して、気になったのは、実際にやっていくことは大事だし、方針を作った後に実施していく主体というところ。葛飾区では民間の指定管理者さんだと思うんですけど、民間だと予算でできることできないことというところが大きいかなと思っていて、方針策定後にどのくらいのことができるのかなというところは気になってきます。なので、例えばかつしかシンフォニーヒルズ、かめありリリオホールの発信等を行う際に、民間の指定管理者と一緒にやっていけるのかということの配慮が必要だと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>ただいま質問がございましたので、事務局のほうで補足説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>素案5ページの1番、「区外の公共施設が最も多く、かつしかシンフォニーヒルズやかめありリリオホールが2割未満にとどまっている」という文章は、第1回策定委員会</p>

	資料としてお配りした葛飾区区民モニターのアンケート調査において集計した内容についての記載です。
委員	アンケート資料で、これは2023年11月に行ったモニターアンケート調査で、それを属性4なのかなと思ったのですけど。
事務局	こちらは、区民モニター調査の中で、活動を行う場所はどこかという質問があり、その中の項目で、区外の公共施設が一番多かったというところの結果を受けての文章を掲載しているものになります。(補足：区内の公共施設が施設別に細分化された項目となっているため、項目別では区外公共施設の値が最も高い結果となっている。)
委員	2023年の11月の区民モニターアンケート調査からというのは把握しているのですが、2024年9月の葛飾区文化・芸術に関する基本方針策定のためのアンケート調査という項目もあると思います。こちらは、あくまでも2023年11月の区民モニターアンケート調査の方を重視されて、そこで出た結果の文章を使っているということですね。
事務局	そのとおりです。この「とどまっている」という表現については、検討させていただきます。
	また、国の方針という意見は、作業部会から出た意見です。こちらは、文化芸術基本法の位置付け、東京都の施策の位置付けを掲載したほうが良いのではないかというご意見です。
委員長	ありがとうございます。続いてよろしくお願いいたします。
委員	細かいことで恐縮ですが、4ページの第2章「葛飾区の文化・芸術に係る現状と課題」の文化・芸術を取り巻く本区の現状と社会状況についてです。最初は人口について触れていて「高齢化率はわずかながら減少している、しかしながら少子化は歯止めがかかっておらず…」となっており、その後続く子育てや教育の様々な取組をととても丁寧に書かれているのですが、文化・芸術を取り巻くという点では、ここまで記載する必要はないのかなと思いました。ですので、高齢化率は減少傾向にあり、少子化についても合計特殊出生率等の微減を踏まえると、傾向として少子化は進んでいるくらいで止めて、子育ての部分の簡潔にするほうが良いと思いました。それから庁内の意見のまとめのところで、第4章「基本方針」の取組の事例が抽象的でわからない、説明文がないので事例というより項目ではないかという意見がありますが、確かに取組の事例という記載のみだと、各取組の内容までは中々見えてこないもので、それぞれの項目の下に少し説明を入れたほうが良いのではないかと思いました。

委員長	はい、ありがとうございます。
委員	<p>私の見た感想では、国の文化芸術基本法の範疇は網羅できているのかなと思う一方で、文化・芸術活動というのが、どうしても人それぞれ捉え方が違うだろうなと思います。それがアンケートでも正しく反映できているのかという見方もあると感じていて、日常的に文化・芸術活動、アートとかそういうのも、ワード自体が何か格調高いものをイメージしがちなので、中々まとめていくのが難しかったと思っています。</p> <p>基本方針ですので、広く網羅はしていると思うのですが、今後、この方針に基づいて、具体的な事業構築みたいな計画を作るのであれば、こういう方向性でも良いと思っています。</p> <p>役人的に見ると、本当にターゲットはどこで、どういう社会を築くかというところが、絞り切れない点が、なかなか難しかったと思います。</p>
委員長	ありがとうございます。それでは続きまして、お願いいたします。
委員	<p>今、委員がおっしゃったように、そもそも基本方針の枠が非常に広いなと思います。多分アンケートもそうなんですけど、すごくいろいろなジャンルの団体があって、集まって、今回その取りまとめになっていると思うんですが、やっぱりその情報の発信の仕方もバラバラですし、本当にまだ文化、交流だとかそういう分野に触れる前の人たちにとっては、アクセスが非常にし難いという印象です。そもそもこの広い方針の中で、入口をきちっと取りまとめて、様々な文化があって、触れる機会を作る、入口をまとめていくことが、すごく重要ではないかと思います。中身に関しては網羅されていて、あとは個別で細かい部分の構築だったり、展開なのかなと思っています。</p>
委員長	ありがとうございます。続きまして、よろしくお願いいたします。
委員	<p>私は、第1章の部分が少し長いのかなという風に思っています。庁内意見のまとめでも、東京都の計画・方針等があってもいいのではないかという意見が出ていますが、むしろ削ってしまってもいいのではないかと思います。具体的には第1章の3項目目ぐらいまではいらないかと思います。</p> <p>「それら背景を踏まえると」の文章から始めてしまってもいいように感じます。基本方針策定の趣旨を示す文章なので、端的にこういうものだということを示すような形がいいのかなと思いました。</p> <p>あと、前回出ました基本方針の位置付けの図ですね。前は計画の下に入り込んでいたような形でしたが、これが連携していくような形になっているというところではわかりやすくなったと思います。</p>

	<p>ただ、この形もその先ほどの趣旨との整合性をとっていかなければと思いますので、ここで、例えば国の方針が出たらその方針との関連性みたいなものも示さなければいけないのかなというところを思うと、やっぱり葛飾区の中の趣旨というところでこの部分はまとめてしまった方がいいかなと思いました。</p> <p>あとはですね、前回の会議の後にメールで事務局に送らせていただいたのですが、この方針が何年スパンでどういうふうに見直されていくのかな、というところが少し気になっていて、この基本方針の下にまた計画やプランができてくるならそのプランを回すということになるかと思うんですけども、その考え方ではないようなので、この基本方針を改めて見直していくことをどのように考えているのか、またそれをこの中に落とし込まなくていいのかなというところは確認したいです。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今のご質問の中で、この方針の後に、基本計画的な性格があるとすると、実施計画みたいなのは作るのかどうか。或いはこの方針だけで、それぞれの具体的な施策に落とし込んでいくのか、その辺りを明確にしておいた方が、この後の議論が進むかと思えますので、そここのところ情報共有を図りたいと思います。</p>
事務局	<p>事務局としては、位置付けの上にもありますように、基本計画、中期実施計画等と関連付けてやっていくところです。この基本方針を踏まえつつ整合を図りながら、基本計画、中期実施計画に位置付ける事業を組み立てていくというスタンスをとりたいと思っておりますので、基本方針の下に文化・芸術に関する計画を作るという考えは特に持っておりません。</p>
委員長	<p>文化政策の行政ツールには、条例や方針とか、基本計画、実施計画と、いろいろあるわけですが、それらのツールの中で、葛飾区は今回基本方針というツールを使って、社会的変化などの諸々の状況を見込んで、今後の葛飾区の基本計画であったり、中期実施計画であったりとも整合を図りながら、予算を伴う事業の実施等につなげていくための基礎の部分を作るという、そういうお考えという理解でよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>間違いありません。</p>
委員長	<p>ということです。なので、ここであまり具体的なことは書けないにしても、一定の方向性が見えるような形での文言が必要ということですね。それでは、次の方よろしくお願いたします。</p>
委員	<p>皆さんが言われたことを感じることはありつつ、僕は違う観点から。資料をいただいたときに、第2章のボリュームが文字ばかりで、ここを読んで、第3章でようやくサ</p>

	<p>ブタイトルが出てくるという流れが、とても見づらいなと感じました。議論が必要だと思いますけど、第1章が終わったら、第3章の基本となる方向性を出した方がいいのかなと思いました。第3章は未来のことだけなので、その後にこの方針の趣旨と理念ですという風にして、そのまま第4章「基本方針」へ進めていくような、要は大きく見せる、中くらいに見せる、細かいものを見せるというような形にした方が、興味がある人はこの先どうなるのかなと思ってくれると思います。</p> <p>第2章の最終ページでは課題に対する答えも結構書いてありますよね。かなり細かく何かを充実するというようなことが書いてあって、多分最後のページはどうした方がいいのかということは必要だと思うので、そういった見せ方があってもいいのかなと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。それでは、最後によろしくお願いいたします。</p>
副委員長	<p>私は、第4章の書きぶりが気になっています。この取組の柱が5つあって、その下に先ほど事例という表現が妥当かというお話もありましたけど、取組の事例があるという形になっています。そうすると、やっぱりこの取組の事例のところに書いてある項目を実施すると、その上に書いてある取組の柱というものが実現していくという感じで進んでいく構造になっていますが、それで足りるのかなというのが気になります。</p> <p>また、この取組の事例というところが、各項目に説明がないので、少し説明があった方がいいのではないのかなと思います。なぜ説明が欲しいかという、これが既に区として実施していることを継続・拡充する話なのか、これまで実施していないことを新たに行うのかというところの区別が現状ではつかないからです。なので、そこは配慮していく必要があるのかなと思いました。</p> <p>それから、細かい表現でいくと、「誰もが身近に感じ、体験できる機会の創出」という、この取組の柱の1というのはとても大事なところだと思うんですが、この4つ書いてある「ユニバーサルデザインに配慮した取組み」というところから「各地域での体験機会の充実」というところまでを実施すると、実現に近づくという構造になっていて欲しいです。やっぱりユニバーサルデザインという言葉に関して言うと、もう既に区として進んでいる取組があって、その関係なのか、それとも新たに行うということなのかによっても変わると思います。</p> <p>また、最近のデザイン業界のスタンスとしては、ユニバーサルデザインはもう20年以上経過しているため少し古く、今はインクルーシブデザインの方がむしろ主流なので、「誰もが」という見出しを付けるのであれば、「インクルーシブデザインに配慮した」という方が、より積極的な感じがします。ただ、区が取り組んでいるユニバーサルデザインの事業があるのだとすれば、それを継続して強化するというような書き方をすればいいと思います。</p> <p>あと、葛飾区が普段どう表現されているのかというところもあるのですが、「各地域で</p>

<p>委員長</p>	<p>の体験機会の充実」というところで、区内の中で地域とは皆さん何をイメージされるのかなと思いました。例えば、港区では地区と言っているのですが、そういう言い方をすると、こういうエリアのことを指しているのだなというのがわかると思います。しかし、各地域と言う表現をすると、例えば〇〇町会というレベルが地域なのか、区民の方はどのエリアの話なのかわからない可能性があるので、そこはきちんとわかるようにした方がいいのかなと思いました。区民としてはどれぐらいの広さで対応してくれるのかと不安に思うところもあると思うので、ここは明確にした方がいいと思います。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>今回の素案ですが、前回よりは随分とスムーズになったかなと感じます。構造化もなされたかなと思う反面、3点ほど思うところがあります。</p> <p>まず第1章「基本方針策定の趣旨」の部分なんですけれど、まず初めになぜ今、なんのためにこの方針を策定するのかというところに触れた方がいいのではないかと思います。それから文化の範囲は、結構国の文言を使っていますね、ある程度書いているので良いと思いますが、位置付けに関しては、障害者の芸術推進法の方にも地方自治体が計画を策定することが努力義務になっているので、この方針はそれも包含したものだという位置付けもできると思うんですね。なので、文化芸術基本法の中でも地方自治体は文化振興にかかる計画を作ること求められていますから、そういう国が提供している枠組みもちゃんと使うものですというところも、せっかくなので位置付けの中に入れておいた方がいいと思いました。</p> <p>一番気になるのは、これは葛飾区の基本方針なので、やっぱり葛飾区はなぜ今これをやるのかという話を最初にした方がいいと思います。</p> <p>現時点では最初が国の閣議決定の話になっていますので、これが一番先に、冒頭に来るとするのは少し違和感があります。葛飾区では、江戸時代から多様な文化を継承してきたということが書いてあるわけですから、これがまず最初に来るのかなと思います。またコロナの話もしていいと思います。コロナで改めて文化の力を感じたというような。要するに、まずはなんで今なのかということをも最初に言った方がいいし、その際の視点は葛飾区を中心にして、国もこんなことやっているけど、その計画にもこれは呼応するものですという、そういうスタイルでいいのではないかと。また、東京都のこの4つの戦略もきっちり書いていらっしゃいますが、ここまで詳細に記載しなくてもいいかなと思いました。これが第1章のところ。また、3ページの図も少し気になります。葛飾区基本構想というのは、基本計画の上位計画になりますけど、今回の基本方針もこれらの中に入っているという理解でよろしいのでしょうか。基本構想はある意味、憲法みたいな感じで、みんなそれは一応見ますよというようなスタイルだと思いますし、この方針もそれらと齟齬がないような形で作るわけなので、基本構想は別建てなのかなという感じがしました。なので、基本方針と並べるのは少し</p>
------------	---

	<p>違和感がありますし、そこを聞かれたときに説明がつかないのではないかなと思いました。</p> <p>あとは第2章が少し長いです。また、第3章は1ページですし、少しアンバランスな感じがします。第2章、3章はある意味コインの裏表ですよ。第2章のアンケート調査でわかった課題に対して、第3章で方向性とか柱を示すというものなので、ここを崩すのは難しいと思うんですけど、本来ここは合体してしまってもいいのかなと思います。特に10ページの課題と11ページの柱はほぼリンクしていて、また10ページの方が詳しく説明しているので、まさにこちらの説明を取組の柱にした方がいいと思います。課題に対してどういう施策を用意するかという関係性なので、ここは合体でいいかなと思いました。</p> <p>第2章はもう少し狭めて、ボリュームを抑えて、第2章と3章を合体でもっと説明をした方がいいのではないかなという感じがしました。あわせて、第2章の一番最初にアンケート調査のところで「2割未満にとどまっています」と書いてありますけれども、これは資料編とか、アペンディックスとして、アンケート調査の結果は本編に盛り込まれるのでしょうか。或いはURLを見れば見られるような形にするのでしょうか。一応ここに2割未満にとどまっていますと書いてあったらデータも盛り込んだほうがいいと思います。</p>
事務局	資料については、基本方針の一番後ろに添付する予定です。
委員長	<p>そうであれば、資料編のどこに記載があるかというのは、最終版には入れたほうがいいと思います。どういう形で入れるかはお任せします。</p> <p>最後に3番目ですけど、他の先生方もおっしゃっていましたが第4章「基本方針」の中にある取組の事例の説明が少し抽象的だと思います。葛飾区の方でも基本計画や中期実施計画の中等で進めていきたい施策等、既に実施しているものも多いと思いますが、今こんなことをやっているというようなことが何かイメージできるような取組例が入っていた方が説明はしやすいと思います。もちろん、これによって限らず、他のものも今後やっていくんでしょうけれども、今やっているもので成功事例等のイメージを掴めそうなものがある場合はそういった説明を加えるのがいいと思いました。</p> <p>一巡しましたので、さらにお気づきの点やこのところを少し変えた方がいい等ありましたらご発言の方をお願いいたします。次回はほぼ確定版になるのですかね。この後、確定してある程度形になったものをパブリックコメントにかけると聞いておりますので、今ここでご意見があればよろしくをお願いいたします。</p>
委員	一つご質問があります。先ほど第1章、第2章を読んだら疲れてしまうのではないかなという意見もありましたが、こちらの方針は概要版を作成される予定はあるのでしょうか。

	うか。基本方針の概要版を作る自治体もよく見られますので、その点をどうお考えか教えていただきたいです。
事務局	当初、ページ数がここまで増える想定はしていなかったため、概要版を作成する必要はないものと認識していたのですが、現状のボリュームを踏まえ、概要版の作成は検討させていただきたいと思います。
委員長	本日ご欠席の委員からのコメント等もご参照いただいているかと思います。これに対してはどのような風にお考えでしょうか。ちなみにですが、こういったご意見は事務局としてはどのように対応できそうか、補足説明いただけますか。
事務局	3つほどご意見をいただいている中で、一つ目の方針全体に対する部分については、ただ今この場でもご意見いただきましたが、引き続き皆さんと考えていければと思います。基本的にこちらの委員のご意見は、今回参考に組み込ませていただきました。次の2つのご意見については、検討課題として2番目の意見は本日話題にさせていただき、3番目のご意見については第4回策定委員会のところでご意見を頂戴できればと思っております。
委員長	かつしかシンフォニーヒルズをどういう方向で振興していくかというイメージと、その課題の説明とのリンクというところもあるかもしれませんが、具体的な施策がなくても、劇場・音楽堂法が施行されて時間もたっていますが、こういった中で、いわゆるコミュニティーディベロップメントのような、そういった役割を持たせるみたいのところまで書き込むかどうかというところですかね。それによって多分、次に具体的に何か施策をするときの、方向性が若干変わってくるというようなご意見かと思います。 最後にアクターの問題ですが、ここは今ご意見頂戴しておかなくても大丈夫ですか。
事務局	今後、基本方針を策定してからの取組というところになると思いますので、次の策定委員会の際にご意見を頂戴しながら進めていければと思います。
副委員長	取組の柱の2、3のところですね。「文化・芸術の振興拠点と情報発信の強化」の取組の事例のところでは文化・芸術の拠点としての再構築というのが入っているかと思いますが、柱のところの文章には「予約や決済等のデジタルサービスの充実等、利便性向上と環境整備を推進します」とあるので、こちらはぜひ進めていただければと思うのですが本当に区民が活動する拠点を作りたかったら、施設の専門職員を充実させて、区民の活動を支援したり、今活動していない人たちをエンカレッジして、活動するように流していくことが大切だと思います。

	<p>なので、人員の拡充的なことはマストなのではないかなと思います。かつしかシンフォニーヒルズのような大きい施設だけではなく、各地区にある公民館のような小さい施設にも専門的なスタッフを配置するような、拠点を作れるようなプログラム、人材というのは項目として欲しいなと思います。なので、予約システムがオンラインでできるようになったとか、電子決済ができるようになったからと言って文化・芸術の振興拠点になるとは思えないと感じたところです。</p> <p>今実施していることがあればそれを拡充しますというような書き方にするのがいいと思います。</p>
委員長	<p>それは多分、その前の人づくりのところにも関わってくるので、再掲という項目があってもいいと思います。どちらにも重なる部分というのは必ず出てくるので。だからどうしてもそこを切り分けようとして、施設では情報発信の場所を貸すだけとか、人づくりのところで作ろうという風を書いてあることもあると思うのですが、人のことは大事な事なので、そこまで区切る必要はないと思います。</p>
	<p>人づくりと人材交流が書いてある中で、多様な主体と結びつく人づくりとなっていますが、こちらは課題に対しての柱になっていないと思います。皆さん感じられるところだと思うのですが、区分をきちんとしようとしすぎてしまったので、いろいろな要素が抜けてしまったのではないかと思います。ですので、再掲も恐れず、豊かな感じで第2章の取組を書いていただくのがいいかと思います。</p>
委員	<p>確かに柱をはっきり分けてしまうと、そういうことが起こってしまうなと感じました。ですから、柱もきっちり区切るのではなくて、重なる部分があるならば、そこは再掲などの表現をしていく方がいいと思いました。</p>
委員長	<p>これは全体を通して関係する部分だと思います。特に葛飾区の場合は人を大事にしたという部分もあるでしょうから、そこは恐れず入れていただいていた方がいいのかなと思います。</p>
委員	<p>ここに入るけど、こっちにも入るということですね。</p>
委員長	<p>多分観光とか産業のところも、新しい担い手を作るところは人づくりが入っていていいと思います。結構すっきりしてきたと思いますけど、もう少し整理されるとよりわかりやすいのかなと思います。</p>
	<p>この他に意見はございますでしょうか。</p>

	<p>次の議題にも関係があるかもしれないですけど、目指すべき未来像が変わった場合、目標の部分も変わってくるのでしょうか。第3章の表下の図の部分です。人と人との繋がりというのは、目指すべき未来像とリンクしているんですけども、次の議題で多分違う方針の文字になったときに、例えば、「人情と伝統が息づき・・・」となったときに、それが目標に反映するのかどうかということになると思います。</p> <p>【議題2 基本となる方向性（目指すべき未来像）案について】</p> <p>委員長 次の議題の方にもうそろそろ入ってきてもいい感じになってきたということですかね。この素案について、またこの後の議題2の中で繰り返し触れていただいて構いませんので、議題2のご説明を事務局から受けて、サブタイトルについて検討していくという形でもよろしいでしょうか。それでは、事務局の方で議題2についてご説明をお願いいたします。</p> <p>事務局 それでは、「基本となる方向性(目指すべき未来像)案について」の資料をご覧ください。</p> <p>こちらにつきましては、前回の策定委員会の中でご意見をいただいた、葛飾区らしい、他の自治体の人たちが見ても葛飾区だと実感していただけるものについて、アンケートで区民の方々からいただいたキーワードを反映したものになります。</p> <p>短いフレーズでまとめたものが1番から5番、6番から10番については、葛飾区をイメージしやすいということで、少し長めのものになります。長いもの、短いもので2通り、全10パターンをご用意しました。</p> <p>委員長 ありがとうございます。区民の意見調査をベースに作っていただいたということだと思います。ここについては、どなたからでもコメントを頂戴したいと思います。</p> <p>このどれを選んでも、11ページのところ、そのあとの部分、目標や取組の柱は大きく変わらないという考えでよろしいかと思います。もちろん文言の修正や追加等は若干あるかもしれませんが、大きな中身としては、アクセスができる機会を創出するとか、人づくりであるとか、情報発信拠点を作る、新たな魅力づくりとかあとそのための体制の強化という、この大きな項目自体は変わらないという前提で、この事務局のご提案をベースに、どういう目指すべき未来像を確定するかということですが、いかがでしょうか。</p> <p>委員 前回の議論だと、長すぎるのはどうかという話が出たと思います。</p> <p>私個人的な意見からすると、短い方で、その読み手の想像力に委ねていくような、方向のものが良いのかなと思います。</p>
--	--

委員長	このあたりは個人の考えもそうですし、感性もあるかと思うんですけども、例えば区民の方として、ここはどうでしょうか。
委員	私としては、自分の区でこんな方針が出たんだと説明するような時に、やっぱり一発パンチが欲しいというのがあります。その上でこの候補の中で見たときに、1から4は、これ葛飾なのかなあと個人的には感じます。5番がいいのかというところというわけでもないんですが、この候補の中で見ると、より葛飾を表現している意味で5番かなと思います。
委員	これはもう多分、皆さんのご意見が異なるのが当然だと思います。そんな中で、僕としては3番が面白いと思いました。何か主体的な気がするからです。こちらは区民の人が自ら自分を磨いたという視点になっていて、他は主体的というよりは客観的なもので、その点3番はすごく自分事として書かれている。何か自分が輝く、文化に携わることによって、何か楽しい未来をつくれるのかなというのを感じました。ただ、皆さんいろいろな見方があると思います。
委員長	もう皆さん、いろいろな考えをお持ちだと思いますので、それではここも一巡して皆さんの意見をお聞きしていきましょう。
委員	私は、“葛飾＝〇〇”のイメージが下町とか人情ということに正直すごく違和感があります。なぜかという一番人情を感じた立石を潰している葛飾だからです。区民の一部ではあるんですけど、千ベロ文化だったり、飲みながらのまちのような、そういう文化を潰している状態を外から見ている人もいると思うんです。やっぱりそれで、下町だとか人情と言うのはすごく違和感を感じるので、先ほど出たように自分が主体でどうしていきたいかというのをキーワードに、短くキャッチーに詰め込めたらすごく良いなと思います。 なので、3番辺りをベースに、あまり硬い表現だとスッと抜けてしまうので、もっとキャッチーで崩したというか、わかりやすく響くものだと良いなと思っています。
委員長	なるほど、ありがとうございます。それでは次の方がいかがでしょう。
委員	私は、短めの文章で葛飾を表すというのは、なかなか難しいなというのは正直感じています。どうしても葛飾を表現しようとするとう説明口調になってしまうと思っています。区民が輝くようになれば本当に良いまちになるんだろうなというイメージがあるので、今いただいたご意見に少し今、なびいている感じです。

委員長	はい、ありがとうございます。では次の方はどうでしょうか。
委員	私も短い方が良いと思いますが、この5つの選択肢の中で、どれがいいかという、少し首を傾げてしまいます。言葉を少し入れ替えたりすると少しリズムが出てくるのかななんて感じたりはしますけど。
委員長	ありがとうございます。いろいろな意見があって良いところだと思います。では次の方お願いします。
委員	<p>資料を見たときにすごい難しいと思ったんですけど、もちろん短くしたほうがいいかなというのは賛成です。</p> <p>人情という言葉はどうするかということなんだろうと思うんですけど、私は葛飾区民じゃないんですが、外の人間から見ると、葛飾のイメージは人情かなと思うんです。ただ、葛飾区民が見たときに、人情には違和感があるという方が大多数であるなら使わない方が良いとは思いました。</p> <p>実際やるときに、本当に達成できるのかという点をすごく考えてしまうと、例えば潜在文化という話がありましたが、面白い用語であるけれども何か説明しづらい。そこが難しいところだなと気になりました。</p> <p>語呂の良さという意味では2番が良いかなと思うんですけど、でも違いは何だろうと考えてしまうと、ある程度の想像ができないと、駄目なかなと思うと、この語呂のよさはあるけれども、そこをどう説明していくのかという時に、腑に落ちないと難しいのかなと思います。</p>
委員長	はい、ありがとうございました。では次の方お願いします。
副委員長	はい、私も区民ではないので外の人間の立場からになってしまうんですけど、葛飾区というと、下町とか人情というようなステレオタイプなイメージをしがちで、観光プロモーションをやるんだったらそれでいいかなと思うんですけど、やっぱり区民の方と共有できていればそれでも良いと思うのですが、そうではないなら使わない方が良いと思います。やっぱりどう在りたいかという点で考えるのが一番良い気がします。前に少し品川区の話をしましたが、その時は20人を超えるぐらいの委員会でも議論していて、公募区民の中にも大学生とか若い人がいて、区議会議員が各会派揃って、産業界も含め区内関係者がいっぱいいたんですけど、その中で「ちょっとおせっかい」というのが、品川区のアイデンティティーであるというのが、若い人も含めてほぼみんな合意していました。だから品川はそんな感じなんだなということもあったんですけど、そういう合意するものが無いんだとすれば、

	<p>おそらく、新住民の方、数からすると相当多い現状があると思うので、葛飾区はこういう区を目指しているんだというスタンスで、もうこの基本方針の中で目指している方向を表すようなものを描いた方が、現状の葛飾区を表現するというより、これを目指しているのが葛飾区ですというので、多くの区民がそれには賛同してくれそうなものは何かというところを分析しながら決めていくのが良いんじゃないかなって思います。</p> <p>それがどんな表現なら区民に刺さるかというアイデアまではいかないのですが、考え方としてはそういう見方が良いんじゃないかと思います。</p>
委員長	<p>わかりました。</p> <p>私も区民じゃないんですけども、外からの意見として、まず、下町情緒とか下町人情には魅力を感じます。もちろん、他区、例えば、台東区も誰が何と言おうと下町情緒という言葉が出てくるんですね。それと江戸文化、伝統や歴史を踏まえて未来を拓くみたいなことを謳っているんですが、それとも少し違うイメージがあります。</p> <p>私の場合は、好みもあるかと思うんですけど、重要文化的景観が残っている、都内で唯一の区であって、オリジナルな文化という意味では、非常に重要な位置を占める区だと思います。</p> <p>そういう中で、どうなんですかね。ジェネレーションギャップもあるんですかね。下町とか下町人情というのはあんまり受け入れられない感じですか。</p>
委員	<p>下町人情だと寅さんを連想してしまうかもしれないですね。</p>
委員	<p>過去に引っ張られるところはあると思います。今回はアート・カルチャーということなので、そういう表現に下町人情が付いてしまうともものすごく引っ張られてしまうと思います。なので、僕はない方が良くと思います。</p>
委員長	<p>強力コンテンツですけど、強力過ぎてしまって危険という感じですかね。</p>
委員	<p>少し長くなるんですけど文章を考えてみました。</p> <p>魅力を磨き、個性が輝き、文化を照らすまち、を組み合わせってみました。</p> <p>磨き、輝き、照らすという3点セット、イメージとしては光輝く未来を想像させるのかなと思います。</p>
委員長	<p>こちら、葛飾区らしさはどうですか？アイデンティティーが含まれている感じでしょうか？</p>

委員	葛飾っぼさというよりは、目指すべき未来像という視点で考えてみました。
委員	葛飾っぼいのと文化・芸術を紐づけるというのは、私的にはなかなかイメージしづらいなと正直思っています。
委員	ただ下町人情とかの言葉を使うと、少し新鮮味には欠ける感じがします。結構あちこちで、二言目には下町人情みたいなことが謳われているので。
委員	やはり世代間のギャップがありますよね。
委員	葛飾でそれが出てくると絶対寅さんなので、アート・カルチャーの分野にそのイメージが進出してくるといのは、僕は違うと思っています。
委員	文化の概念がやっぱり広いから、あんまりそこに色を付けちゃうのはどうだろうと思いますね。
委員長	それではいかがいたしましょうか。葛飾区民の方がお二人いらっしゃる中でご意見が出されていますけれども。
委員	私もいろいろなこの先の未来を示した方が良いなと思います。ここにはまるのはやっぱり、現状の葛飾区を示す言葉ではないので、葛飾がどうなっていくか、文化・芸術をどのように活かしていくかという方向性なので、そういう光輝いていくというのはとても良いなと思います。文化で輝いていくまちになっていくんだっていうのは他にアピールしたくなる方針だと思います。
委員長	そうすると、もう一度教えていただけますか。
委員	「魅力をミガキ 個性がカガヤキ 文化をテラス まち」なんですけど、磨きと輝きをカタカナにするとか、細かい部分をどうするかですね。照らすはカタカナだとテラス席みたいに読めてしまうので。
委員	葛飾区内でも使われていますよね、ミライテラスとか。
委員	カタカナにするなら“まち”はいらないかもしれないですね。
委員長	「魅力をミガキ 個性がカガヤキ 文化をテラス」で磨き、輝き、照らすはカタカナと。

委員	そういうちょっとした違和感があつた方が良くと思います。
委員長	<p>3つカタカナで“まち”は付けないと。それでは、そういう方向でいきたいと思ひます。</p> <p>はい、それではこの後少し事務局で作業していただいたものをパブリックコメントにかけるんですね？その辺りのスケジュール感をご説明いただいたうえで、再度言い忘れたことやお伝えしたいことがないか伺ひたいと思ひます。</p> <p>【議題3 今後のスケジュール（予定）について】</p>
委員長	では議題3について事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>12月に令和6年第4回区議会定例会がございますので、こちらで基本方針の素案を所管の委員会に報告します。その報告の後にすぐパブリックコメントをかけていく予定になります。このパブリックコメントについては子どもや若者の意見をいただきたいと考えておりますので、学校通じて広く意見を募集したいと考えております。</p> <p>その後、令和7年2月7日に予定している第4回策定委員会でパブリックコメントの実施結果をご報告し、その結果をもとに、基本方針の案を確認いただいた後、2月に予定している令和7年第1回区議会定例会で、パブリックコメントの実施結果及び基本方針案を、所管の委員会で報告します。その後、令和7年3月に基本方針策定という流れで、今年度中に印刷まで進みたいと考えています。</p>
委員長	非常に忙しいスケジュールになります。本来、もう1回ぐらいこの素案を、本日出たご意見や目指すべき未来像を入れた形でご覧いただいて意見を伺う形の方がよろしいのではないかとと思ひます。12月にそのまま、議会に出すんですね。
委員	素案を委員会に出して、パブリック・コメントにかけるとのことですが、その結果の報告は策定委員会の方が先か、それとも議会が先か、どちらで考えているでしょうか。
事務局	策定委員会が先です。その後に議会となります。
委員	区議会にかけたとしても、そこでご意見をいただいて、それを反映する可能性もあります。

委員	要するに、素案を出したときの議会での意見も踏まえて、最終的に2月の策定委員会で最終確認をしてもらうということですね。
委員長	<p>2月7日が最後の策定委員会になりますので、1回目の議会で大体のご意見をいただいて、そのコメント踏まえて、また調整が入るっていうぐらいの想定でよろしいでしょうかね。ということは、やっぱり、今回のご意見で大体決まるということになります。</p> <p>そうであれば、パブリックコメントに出す前にですね、やはりもう1回ご覧いただいた方がよろしいかと思います。なので、委員の皆様には大変申し訳ないのですが、もう1回メールで素案をパブリックコメントに出す前の最終形として確認いただきたいと思います。その場合のスケジュール感はどのような感じになりますでしょうか？</p>
事務局	11月1日までに素案の修正案をお送りし、11月8日（又は11日）までに確認とご意見を提出いただければと思います。そのご意見を反映したものを11月15日までに再度お送りするイメージでお願いできればと思います。
委員長	できるだけ完成度を高めた形で出していただければと思いますので、事務局は少し大変かもしれませんがよろしくお願ひしたいと思います。それでは、他に何か言い忘れたことなどあれば、具体的な修文も含めてぜひ出していただければと思います。
事務局	<p>今の時点でいろいろご意見いただいたところを確認させていただければと思います。</p> <p>まず第1章の趣旨ですが、基本的に長いという点と、なぜ策定するのか、なぜ今なのかということも冒頭に持っていきつつ、わかりやすくしていく点について修正させていただきます。あとは基本方針の位置付けでは基本構想が全体にあって、その中の基本計画や実施計画と、この方針が整合・連携という位置付けに修正させていただきます。</p> <p>それと、第2章のバランスと、第3章をまとめるかどうかという点についても検討させていただきます。</p> <p>第4章の基本方針につきましては、少し内容がわかりにくく、説明が足りないというところで、実際何に取り組んでいて、拡充なのか新規の取組なのかも含めて、取組の柱の文章をわかりやすいものにするよう見直しをさせていただきます。その他、何か漏らしていることがあれば教えていただければと思います。</p>
委員長	以上のご説明で、大体網羅されているのではないのでしょうか。

	<p>また、最後の委員会でも議論するというご説明もありましたが、例えば推進体制のところも含めてですね、何かあればご意見を頂戴したいと思います。例えばユニバーサルデザインやインクルーシブデザインの話が出ましたが、それに関して区で取り組んでいるプロジェクト等があればそれに沿うことも考慮しなければなりません、いかがでしょうか？</p>
委員	<p>教育の中では、インクルーシブ教育という考えが広がっています。これまではユニバーサルデザインとしてやってきましたけれども、それらを進化させる形で求められているのがインクルーシブ教育という形です。</p>
委員	<p>ユニバーサルデザインの方針はある一方、インクルーシブに関する方針はまだ出てきていません。ただそこは先取りできるし、それで良いと思います。</p>
委員長	<p>第2章のところはもう少し客観的に書くと。 「とどまっている」というような評価は主観が入っているので、ですます調で書いていただいて、かつ、課題のところですね、どの課題がアンケートから出た結果と関係するのかっていうところは、紐付けがあった方がいいかなと思います。どう見せるかは工夫していただいて。アンケート調査をきちんと分析して、それによってこの課題を抽出したということは大事な点ですので、それがわかるように説明を書いていただくし、表示もしてもらった方がよろしいと思います。</p>
委員	<p>指定管理者ですとか、人材の投入みたいなところを柱に盛り込んでいるのですが、地区センターなんかは指定管理者にはしていないのでしょうか？</p>
委員	<p>指定管理ではなく直営（一部委託）です。</p>
委員	<p>指定管理期間は今何年目で、次の公募はいつになりますか？</p>
委員	<p>今年が5年間の1年目にあたるので、令和11年度から新しい期間になります。</p>
委員	<p>この方針が出た後で、その募集をかけるときには、この方針を踏まえた上での指定管理者にならないといけないなと思ったので、取組の中では多少指定管理との関係性や、文化施設をどう活用していくのかというところを、13、14ページ辺りに入れ込んだほうがいいなと感じました。</p>
委員長	<p>実際の文化政策の中で、一番大きなお金が使われての箱物ですので、そこは丁寧に、また将来に向かっての自由度を失わないような形で、少し具体的に書いていただくと</p>

	<p>よろしいかと思えます。</p> <p>この方針は大体どのぐらいの期間を考えていらっしゃいますか？</p>
委員	<p>基本計画が 10 年計画ですので、整合性を取るという意味も踏まえると基本計画に合わせてが良いのかと思えます。</p>
委員長	<p>そうですね、基本計画に合わせて概ね 10 年とかで書いて、柔軟に途中で見直すとか、PDCAサイクルを回すといったような文言を入れておくと、後がやりやすいかもしれませんね。やはり 10 年経つとすごく状況が変わるので、本当にこれが、このままでずっといけるのかどうかも含めて、どこかで見直しが入る方が良いと思います。</p> <p>他にございませんか。ちなみに、文化財関係は総合計画のようなものは作っていらっしゃるのですか？</p>
委員	<p>文化財という括りではないです。ただ文化的景観のこともあるので、文化的景観単独では保存計画を作っているんですけども、その辺は整備していかなければいけないと思っています。</p>
委員長	<p>この方針での文化財、文化資源に関するところは大丈夫ですか。</p>
委員	<p>文化財については、これをどう活用していくのかというのが今後の課題にあって、葛飾区が遅れていると言われている部分でもあるので、生活の一部に入り込んでいけるような活用ができれば良いなどは感じています。</p>
委員長	<p>そういったことをここに 1, 2 行で書き込むことはできるのでしょうか。</p>
委員	<p>可能です。要するに活用の幅ですかね。その辺を少し追記するのは有りだと思います。もっと言ってみれば産業もそうだし、観光もそうだし、活用の幅を持たせるのと広げると触れても良いかもしれません。</p>
委員長	<p>そういったものも少しずつでも入れ込むと、具体性がでてきますよね。</p>
委員	<p>第 4 章にかなり修正を加えるということなんですが、取組の柱 2「多様な主体と結びつく人づくり」のところが若干ボリュームが少なく感じます。他の柱はいろいろな用語が入っている中で、特に専門分野の力の活用のところなんかは、情報発信やどんな力を活用するのかといった文章を付け加えても良いのではないかと思います。</p>

	<p>した。結構この項目は大事なところだと思うので、もう少し内容を増やせばなと思います。</p>
委員	<p>先ほど、再掲もするといったお話もあって、結構ここは他の項目と関わりあってくる部分だと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。大体議論も出尽くしたようですが、事務局の方で特にここを確認しておきたいというところはありますか。</p>
事務局	<p>先ほどのスケジュールをもう一度確認させていただければと思います。本日のご意見を踏まえたものを11月1日までにメールにて送らせていただきます。</p> <p>その内容をご確認いただく期限を11月8日とするのが良いのか、土日を挟んで11日とするのが良いのか、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>例えば、11日の正午とか、そういった時間の区切り方でも良いのではないか。そうすれば8日というよりは多少やさしい設定になる。</p>
委員長	<p>そうですね。</p> <p>もし、先生方がご賛同いただけるのであれば、11日の正午ということで区切らせていただきたいと思います。できれば修文の形でお願いしたいと思います。もう変更履歴を付けていただいて、修文でお返しいただければ大変作業が効率よく進みますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>【議題4 その他】</p>
委員長	<p>それでは最後の議題「その他」について、何か事務局からあればお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>次回、最後の策定委員会が2月7日というところでございます。今回の素案では全体的に調整事項が多くございますけれども、第4回には方針としてきちんとお示しできるようにしていきたいと思います。</p>
委員長	<p>私自身は、パブコメや庁内会議にかける前の段階で完成度を高めたいと思っています。それにはこの時期がすごく重要なので、先生方もお忙しいとは思いますが、ご協力いただければありがたいと思います。ありがとうございました。</p> <p>それではここで本日の議題はすべて終了いたします。</p>

	ありがとうございました。
閉会	